

第2回大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議 会議要旨

日時：

平成30年2月28日（水）午前10時00分～午後0時00分

場所：

大山崎町立中央公民館 別館3階大研修室

出席委員

田所会長、中田会長職務代理、百田委員、岸本委員、井上委員、堀内委員、井幡委員、
下田委員、田中委員、上田委員、菱木委員、名和委員

欠席委員

なし

事務局

本部政策総務課長、中村管財係リーダー、宮田主任

傍聴者

7名

【会議次第】

1. 開会

杉藤委員の都合により、岸本委員に交代、委嘱した旨の報告。

<傍聴者及び記者 入室>

【議事】

2. 議題 中央公民館等の整備方策の検討について

前回会議において要求のあった事案について資料を基に事務局より説明。

- (1) 大山崎町の各種計画の位置付けについて
- (2) 大山崎町立中央公民館等施設の修繕実績
- (3) 施設整備に対する地方債措置について

【主な意見、質疑応答は次のとおり】

- (会長) 事務局からの説明について質問はありますか。
- (委員) 耐用年数50年の根拠が不明瞭であり、ご質問させていただいたつもりでした。そこを明確にいただかないと議論ができないと思います。他市では、建築学会の示している耐用年数を使っている例もあります。
- (委員) 関連して、建物の資産価値として50年としているのはわかりますが、実際に使える期間は違います。また、前回、見学の際に、外壁のひび割れがあるのに放置していることに驚きました。そういう対応をしているから耐用年数が短くなるのではないかと思います。また、地方債についての説明がありましたが、将来に渡って借金を抱えるべきではないと思います。
- (会長) 多様な意見について、尊重しとりまとめていきますが、あと3回の会議で意見を一致させるのは不可能だと考えています。一方で、前回お話ししていた3つの整備方策について議論を深めたいと思います。
事務局からの説明について、ソフト面で対象となっている施設の事業の課題があるのではと思いました。
- (委員) 資料をお示しいただいて、修繕に対する費用を先ほど委員からも指摘のありましたとおり、かなり抑えられていると思いました。耐用年数について、社会的な使われ方として改修工事等して文化財価値も含め長く使われているものは多くあります。一方で、国から公共施設をどうしていくのか議論され、今後10年、公共施設についてどういった整備をしていくのかという計画を作るガイドラインが示されており、それに準拠して町で作成されているものであることを踏まえる必要があるのではと思います。
ソフト面について実際に使われている出席委員の皆様方のご意見をお伺いできればと考えています。
- (会長) それでは、出席委員の皆様から利用者の声をお聞きできればと思います。
- (委員) 保育所を利用しており、現状は日当たりも良く広々としていますが、示された計画の保育所の部分はあまり良いものではないと思いました。
- (委員) 長寿苑を利用しており、利用者数は横ばいで現状に満足していますが、お茶を飲める場所があれば良いと思います。
- (委員) 公民館を利用していますが、壁、床が傷んでおり、空調も余りよくないと思います。また、貸館だけでなく、ロビー等を使い、小・中学、高校生が憩える場が欲しいと思います。
財源についてまず整理しないと、机上の空論になるのではと危惧しています。
- (委員) 公民館を利用していますが、ホールは重要だと思います。計画では小さく、200人くらい収容できるホールがあれば良いと思います。アクセスについて、

体育館に大きなホールがありますが便利が悪いです。シビックゾーンもあまりよくないと思います。計画では、駐車場を広くとられていますが、車だけで良いのかと思います。

(委員) 図書室について、現状、本がなく他市の図書館を利用しています。整備を諦めるか、特化したもの、例えば絵本とかにした方が良いのではと思います。

(委員) 公民館を利用していますが、特に問題なく利用しています。ただ、土足厳禁の広い部屋の予約が取りづらいので、もう少しあれば良いと思います。また、ベビーカーを利用しますので、エレベーターがあれば良いと思います。

(会長) 各種計画を見ると、世代間交流が多く記載されていますが、その辺りのお考えを聞かせて下さい。

(委員) 世代間交流もしたいとは考えていますが、現状は進んでいません。今後、複合施設ができて、長寿苑と一緒にしたらイベントごとができればと考えています。

(委員) ふるさとセンターを普段利用していますが、アクセスが良く町外利用者が多いです。普段は施設の備品が壊れてもすぐに新しいものが買えないであるとかで、苦慮しており、運営面を見直す必要があるのではと考えています。

(委員) 公民館を利用していますが、ホールが使えないので、ダンスや太鼓など活動がしにくくなっています。すぐに対応できるものではないですが、建物の早期正常化について、道筋でもつけばと考えています。

(委員) 公民館については、他市の施設を利用しています。理由としては、ハード面では防音室がありません。ソフト面では備品を貸出してくれますので利用しやすいです。また、現状の各施設について、会議室、講座室が多過ぎで、使わない部屋があるのではと思います。

(会長) 各委員の体験に基づいたお話をお伺いしました。施設の整備について事務局が示した3つの方途についての話に進んでよろしいですか。

(委員) 確認ですが、アクセスや財政の話も議題に上げていいもののでしょうか。また、耐用年数について多く議論がありましたが、町が計画をすすめる要因はそれによるものなののでしょうか。耐震性の心配で話が進んだのではないのでしょうか。

(事務局) 老朽化、ホールの閉鎖、子育て支援センターの移転などでご不便をお掛けしており、シビックゾーンの施設全体で本会議においてご検討いただき、町の方針を決めようとしているところです。財政の話も出ており、無視できる問題ではありませんが、公共施設をどういった方向で整備すべきかをご検討いただければと存じます。

(会長) 財政の話は検討の中心課題ではないということで宜しいですか。

(事務局) はい。

- (委員) 財政的な裏付けがないとやはり議論できないと思う。ただ意見を聞いて将来のまちづくりの参考にするという意味なのか、実際に整備するのか、町の考えをお示しいただきたいと思います。
- (委員) 計画は、個別に建替えるより複合化した方が安いということが貫かれており、複合化案の A~D 案のどれにしますかというように読めると思います。また、複合施設の部屋割りは専門的な知識が反映されているものではないと思います。過去の経過から財政的に厳しいはずなのに計画を進めることが心配であります。
- (事務局) 複合化案は可能性としてお示したものであり、この中からどれかということではありません。
- (会長) 現状を把握した方が良いという意見、三つの方策を検討するだけの財源があるのかという心配、現状の修繕すらやれてないのではというご指摘がありました。実現の可能性についてまで議論する場ではないと思いますが、三つの方策以外の案について先に出しておいた方がいいのではと考えます。

「意見なし」

- (会長) 話の中でまた出てくるとは思いますので、3つの方策について検討を進めていきます。それぞれについてご意見をお伺いします。
- (委員) 3つの方策で進めて行くことに全体として異論があるわけではないと考えています。共通認識として、前回、町長からコンパクトシティでやっていくという話がありました。進める上ではそれなりの覚悟が必要だと考えています。他市と同じ施設を整備、維持していくことは不可能だと思います。また、公民館の現状の床面積が他市と比べて広いですが、それを維持していくべきなのかも含めて議論すべきだと考えます。
- (委員) 今のご意見は先ほどから、他市のものを利用して、機能を削るという4つ目の案として受け取れるかと思いますがいかがですか。
- (委員) 会議においては、公民館の全体的な大きさについて検討できればと思っています。具体的な中身については今後、検討する場が別にあるかと思っています。
- (委員) 平成27年度に町が実施された「大山崎町公共施設に関する町民アンケート調査」の結果を念頭に進めて行く必要があると思います。
- (委員) 長寿苑の場所におきまして、複合化計画は駐車場を整備するとなっています。前回、見学に行って、長寿苑は太陽の光が施設内に入ってくる構造で素敵な建物だと思いましたので、そういったことも活かしながら検討していければと思います。

(委員) 国も含めて借金をすることを当たり前だという感覚になっていないでしょうか。また、施設は町の貴重な財産だという感覚も薄れているのではないのでしょうか。前回、各施設を見学に行った際、手入れしていないことによって老朽化が進み、手が付けられなくなっているものが見受けられました。町にとって損失だと思います。

(会長) 町に見合った施設整備、起債についての考え方、維持管理についての町や住民の姿勢についてのご意見がありました。他にございますか。

(委員) 複合施設を検討するにあたってお示しされている計画は、案ということで捉えてよろしいですか。町のことを考えて作られているとは思えません。例えば、保育所とゆめほっぺを一緒にしていますが、子育てということで似ているが無理があると思います。子育て施設の運営についても考えてもらいたいと思います。

(会長) 住民の声と職員、専門家の意見も聞く必要があるのではとも思います。しかし、職員が異動サイクルの中で仕事をしていると、事業がマンネリ化したり、施設や事業に対する問題意識が低く、陳腐な意見しかでないことになっていることもあり得ると思います。

(委員) 施設内に一部に、軽食コーナーなどを設けてもいいと思います。

(会長) こども食堂など多様な例があり発想が広がります。

(委員) 計画にもありますとおり、耐震性不足から、供用できていない施設が現にあるわけで、早急に対応しなければならないというのは異論のないことだと思います。最近はワークショップなどを開催することが多いですが、町から資料を示されている中で、どういった歩み出しをするのか、次回議論できればと思います。

(会長) 限られた任期でワークショップまでするのは無理かと思いますが、必要性というのは意見として、町にも尊重いただけたらと思います。今回は、3案でどれが良いと考えているのかご意見をいただきたいと思います。他に議論したい事項はありますか。

(委員) 長寿命化改修工事費について、個別具体にお示しはできないでしょうか。

(会長) 日期的に無理があると思います、数字の問題は参考として捉えていただければと思います。

(委員) 概算でも金額を出すのは無理な気がします。今回は3つの案について、自分は

賛成できる案を選んで、どういう理由で選んだかを発表するというところでよろしいですか。

(会長) そうです。ただし、条件付きもあると思いますので、計画の中にある機能以外のも含めても良いと思います。各委員3、4分でお話いただきたいと思います。

(事務局) 先ほど、歩み出しの話がございましたが、方針決定後に、来年度、ワークショップを含めて検討を進めるべく、予算計上をしているところです。

3. その他

事務局より次回の開催案内。

閉会